

かがやき



社会福祉法人
丸瀬布社会福祉協会

第12号

令和元年12月1日発行



遠軽コスモス園にて（緑の園）

社会福祉法人 丸瀬布社会福祉協会
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布新町404番地
TEL0158-47-3001 FAX0158-47-3002

特別養護老人ホーム ヒルトップ・ハイツ
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布新町404番地
TEL0158-47-3001 FAX0158-47-3002

遠軽町丸瀬布ヒルトップ・ハイツ居宅介護支援事業所
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布新町404番地
TEL0158-47-3009 FAX0158-46-3035

養護老人ホーム 緑の園
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布新町274番地2
TEL0158-47-2160 FAX0158-47-2190

丸瀬布 デイサービスセンター
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布新町404番地
TEL0158-47-3003 FAX0158-47-3520

地域密着型特別養護老人ホーム グリーンプラザ
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布新町274番地2
TEL0158-49-5100 FAX0158-47-2190

当たり前前

丸瀬布社会福祉協会
理事 福井 稔 教



令和という新しい時代が幕を開け半年が過ぎます。

七十歳を古希といい、その昔は稀な年齢として長寿のお祝いをしましたが、現代日本には百歳以上の方が約七万人おられるそうです。

明治、大正、昭和、平成の時代を生き今もなお尊い命を育まれていることにただ只頭の下がる思いでございます。

当たり前ということはあるべきこと。又、漁師が共同作業して釣った魚を一人当たり前に分配される当然の権利からできた意味だそうです。

毎朝目が覚める、食事ができる、息ができる、友人といつも会える、太陽が朝昇る、生まれてきた、今生きている等当たり前前のこと。そうでなくなつた時に当たり前前の有難さに気づくものです。

浄土宗の法話で耳にしました。当たり前前の反対は何だと思えますか？それはありがとらうだそうです。ありがとうを漢字で書くと「有難う」これが変化すると「あり難し」「あることが難しい」、「稀である」「めつたにない事に巡り合う」「奇跡なこと」だそうです。

お釈迦様は言います。「生きていることは当たり前前ではなく、有難いこと。いつか死を迎える事が当たり前前だ」と。

今生かされている命を大切に、そして常日頃当たり前前のように幸せに過ごせるように感謝の気持ちを忘れずに。

合掌

新 人 職 員 紹 介



山本 徳子
(デイサービスセンター)

今年の1月からデイサービスで働かせて頂いております。毎日、楽しく今日も来て良かったと思われるサービスマに努めていきます。



田口 佳世子
(ヒルトップハイツ)

働き始めて数か月が経ちますが、慣れない事も多く、周りの方々の助けを得ながら過ごす日々です。一日も早く慣れ、美味しい・楽しい食事を提供できるように頑張りますので、宜しくお願いします。



大野 秀子
(デイサービスセンター)

デイサービスセンターで勤務して早一年が経とうとしています。職員の皆さんに助けってもらいながら、少しずつ仕事にも慣れ、一年間通して行事にも利用者さんと楽しく過ごす事が出来ました。

今後も職員の皆さんと仲良く頑張っていきたいと思えます。



矢口 貴子
(ヒルトップハイツ)

四月より勤務させていただいております。利用者さんが安心して過ごせるよう援助させていただきたく思います。宜しくお願い致します。

事業報告・決算認定される

社会福祉法人丸瀬布社会福祉協
会・養護老人ホーム緑の園・特別
養護老人ホーム丸瀬布ヒルトッ
プハイツ等における介護保険事業並
びに各種サービス等の事業報告及
び決算報告が次のとおり承認され
ましたのでご報告いたします。

事業報告

一、法人本部事業内容報告

- ① 理事会の開催状況
- ② 評議員会の開催状況
- ③ 監事監査の実施状況
- ④ 役員研修
- ⑤ 規程・要領等の改正と改正内容
- ⑥ 事故報告・施設内感染症対策

二、養護老人ホーム緑の園

事業報告内容

- ① 総務関係○施設整備関係
- ② 固定資産関係
- ③ 防災関係
- ④ 業務関係○措置機関別利用者
状況○月別入退所利用者状況
○年齢構成別利用者状況○A
D別利用者状況○特定施設
入居者生活介護利用者状況
その他○「喫茶」「居酒屋」「映
画館」「カラオケ」開店状況
○ボランティア協力受入状況
○外部研修○会議等実施状況
○職場内研修実施状況○年間
行事実施状況

三、特別養護老人ホーム丸瀬布

ヒルトップハイツ事業報告内容

- ① 施設整備関係
- ② 固定資産関係

四、地域密着型特別養護老人ホーム

グリーンプラザ事業報告内容

- ① 施設整備関係
- ② 固定資産関係
- ③ 防災関係
- ④ 業務関係○空床短期入所利用
状況○市町村別利用者状況○年
間入退所状況○利用者年齢構
成○利用者A D L 状況
○レクリエーション○個別接遇
○健康衛生○行事
○職員研修○ボランティア受
け入れ態勢

五、丸瀬布デイサービスセンター

事業報告内容

- ① 利用登録状況
- ② 基本事業実施状況
- ③ 通所事業実施状況
- ④ 生きがい活動支援通所事業
- ⑤ デイサービス体験利用実施状況
- ⑥ 職員研修等
- ⑦ 年間行事実施状況

六、遠軽町丸瀬布ヒルトップハイツ

居宅介護支援事業所報告内容

- ① 利用者状況
- ② 業務状況
- ③ 地域ケア会議
- ④ 職員研修
- ⑤ 介護認定調査状況

グリーンプラザです！



緑の園と一緒に盆踊り！！



自分で作ると味は最高！



おやつ作り！



美味しいね！



敬老祝賀会



ヒルトップ・ハイツです！



行事風景



今年度の家族交流盆踊り会は悪天候の為、室内での開催となりましたが、大いに盛り上がりました (*^_^*)



施設内いろいろ



天気の良い日は日光浴！



皆で歯磨き勉強会！
口腔ケアにも力を入れています



いつも職員のお手伝い
ありがとうございます！



自治会合同避難訓練



秋祭りには
御神輿や
お稚児さんも
来てくれ
ました (^^)/



丸瀬布デイサービスセンター



☆メリークリスマス☆



楽しいレク



仮装してデュエット♡



今年の藤は綺麗だったな～



見事完成！



桜も見ごろ！に見学したよ



鬼は外～福は内～



ゲーム作成のお手伝い中



楽しいカラオケタイム



みんなで火鍋♡

手作りセットで
流しソーメン



みなさん真剣に狙ってます



杜のサロンで介護教室





こんにちは！緑の園です！！

母の日



父の日



感謝です！

レクリエーション風景です！



衣
料
販
売
会



かたつむりの会慰問



盆踊り大会



屋外ジンギスカン会





主任ケアマネをはじめ、保健師・看護師・社会福祉士・介護福祉士と多様の資格を持ったケアマネが、介護保険制度の状況は変化しておりますが、その時の制度に沿って活動しております。

さて、『居宅介護支援』とは、何等かの理由により生活していく上でお手伝いが必要になった方のご相談をお受けする仕事です。どうしても安全で安心して出来るだけ自分らしく生活を送ることが出来るのかを一緒に考えます。また、ご本人・ご家族の方達と必要なサービスを検討し、サービス事業所（訪問介護・通所介護・訪問看護・短期入所等）との連絡調整を行い、『居宅サービス計画書』（ケアプラン）の作成を行います。その他には『介護保険の認定申請』や『住宅改修』（手すりや段差解消等）『福祉用具購入』に係る書類の作成も行っています。何か心配なことが「お風呂に入るのが大変になった」「数日間家を空けたいが、1人にしておくのは心配」等心配事をまずはご相談下さい。介護支援専門員（ケアマネジャー）が伺います。連絡先は47-3009です。

訪問奉仕活動者紹介

- ・絆の会 代表 横山 千里
- ・藤の会 代表 伊勢谷友枝
- ・新都山流シャクルート 代表 谷藤 紅山
- ・歌謡愛好会 代表 高橋 旭
- ・民謡同好会 代表 浦 忍
- ・遠軽町丸瀬布総合支所 支所長 会津 靖朗
- ・遠軽町社会福祉協議会 理事 伊藤 友彦
- ・えんがる商工会青年部 部長 秋元 直樹
- ・丸瀬布地区老人クラブ 会長 柴田 英男
- ・新世クラブ 代表 岩上 孝義
- ・女性ドライバーの会 代表 菅生美重子
- ・山彦太鼓保存会 代表 中島 伸司
- ・北見盆地風雪太鼓保存会 指導奏者 高橋 利典
- ・陽気朗グループ 代表 稲垣 史朗
- ・遠軽どっこいしょ ひまわり学園本人会
- ・丸瀬布温泉マウレ山荘 支配人 笠井 明弘
- ・幼年消防クラブ 代表 関口 洋美

- ・正派若菜会
- ・犬の保育園
- ・佐藤 正美
- ・小谷 和子

代表 柴田 雅寿

順不同・敬称略

「寄付・し寄せ」ありがとうございました

平成三十年度

- 井上敏弘
 - 森正敏
 - 西雅代
 - 今直美
 - 斉俊秋
 - 菅美重子
 - 佐々木勝悟
 - 米澤谷
 - 西村徳男
 - 鳥山丈夫
 - 小川克峰
 - 斉藤芳子
 - 蓮野由枝
 - 原田信男
 - 藤坂喜代子
 - 歌謡愛好会
 - 藤の業株
 - 丸高業株
 - 北明電業株
 - 陽気朗グループ
 - 公明党丸瀬布支部女性局
 - 天理教北海道教区福祉厚生部
- 順不同・敬称略

編集後記

まず初めに、この度の2度の大きな台風で犠牲にられました方々のご冥福をお祈りするとともに被災された方々の一日も早い心の平穏が訪れますことをお祈りします。

昨年9月に発生した胆振東部地震、そして新しい令和の時代になってからも8月末の九州北部豪雨等私たちの住んでいる日本という国は自然災害と共にあることを痛感します。

そんな度々発生する災害に見舞われたときに、必ずボランティア活動に馳せ参じてくださる方々がたくさんおられることに日本人特有の「困ったときはお互いさま」の精神を強く感じ心から嬉しく思い、そしてその精神を持っている日本という国民であることを誇らしく感じます。

「目の前に困っている人がいる」。援助を必要としている人に私たちが出来ることはどんな小さなことだつてきつとあるはずです。

何もできないからと無関心を装うのではなく、たった今困っている方たちを「思う気持ち」こそが大切なのではないでしょうか。

- 広報委員長 工藤 雅也
- 広報委員 笠原 友樹
- 広報委員 小林 秀明
- 広報委員 小林 圭介